



GUNBOH

群 萌

第189号 2017年4月21日

発行所 全国化学労働組合総連合

〒105-0021 東京都港区東新橋2-16-1

ルースビル402号室

TEL 03 (6452) 8806

FAX 03 (6452) 8807

発行責任者 寺前 敦司

編集者 化学総連事務局

gs03@kagaku-s.com

～働き方に大きな変革を～

全国化学労働組合総連合
会長 寺前 敦司



昨年9月末にスタートした働き方改革実現会議は、3月28日の第10回会議にて働き方改革実行計画をまとめて一区切りとなりました。社会情勢の影響や最後に話し合われたこともあって、罰則付き時間外労働の上限規制の導入に世間の耳目が集まりましたが、それ以外にも気に留めておかなければならないことが、実行計画には記されています。

その一つは、昨年度末にガイドラインの提示された同一労働同一賃金です。「不合理な待遇差の解消を目指す」と全文冒頭に書かれているように、各社における全ての仕事の責任と処遇の違いが均等・均衡で合理的であるということ、改めて労使で認識共有する必要があります。また福利厚生、キャリア形成・能力開発などの待遇についても、留意が必要です。

それから、柔軟な働き方がしやすい環境として取り上げられたテレワークです。これについては、対象者はどうするのか、労働時間管理はどうあるべきか、長時間労働を助長するのではないかなど導入への障壁がある一方で、完成車メーカーや都市銀行さらには化学総連加盟数社においても、全職員を対象とした導入事例がすでに存在します。このような現状からも、前向きな議論の展開が期待されていると感じます。加えてこれまではタブー視されていた副業・兼業についても、柔軟な姿勢が求められると見ています。

また多様な女性活躍の推進、子育てと仕事の両立の観点においては、ここ10年で取り組みが進んだものの、まだまだ課題が山積していると指摘されています。女性が働きたくくなるような自職場環境の整備もさることながら、男性の育児参加を促すことや同僚の育児に配慮・理解のある上司を増やしていくことで、社会全体の子育てと仕事の両立支援に対する責任を意識していく必要があると思います。

さらには高齢者の就業促進についてです。7割近くの高齢者が65歳を超えても働きたい意思のあること、医学界も65歳までは現役とみなし65～74歳を準高齢者と提言したこと、労働力人口は減少の一途を辿ってい

ること、それから化学産業が残念ながら人気の高い職種ではないことなどを考慮すると、65歳以降の継続雇用延長や65歳までの定年延長などの必要性は、想定以上に早いのではないかと考えます。

最後に長時間労働の是正については、時間外労働のない環境を実現するために様々なアプローチで不断の努力をすることを大前提とした上で、定修や決算、新規設備の立ち上げなど業務量が瞬間的に過大になる場合においては、健康に十分留意しつつ残業時間を極力抑えることに、労使はこれまで以上に注意を払っていかなくてはなりません。加えて、各社の事業運営をサポートしてくれている運送業や建設業など他業界や、原料で繋がっている同業他社に対しても商習慣の見直しや取引条件の適正化がうたわれており、時代は我々の働き方を取り巻く環境に対して、大きな変革を求めていると強く感じる次第です。

化学総連ではこの間、1月に実施された「働き方改革」の実現に向けて～皆さまの声をお聞かせください～』に応募し、最低賃金の向上、テレワークにおけるオフラインになる権利、高齢者雇用に向けた法整備の推進などを提言しつつ、2月には厚生労働省職業安定局派遣・有期労働対策部長の鈴木英二郎氏と、与党内の「多様な働き方を支援する勉強会」事務局長の穴見陽一衆議院議員とを迎えた勉強会を開催し、同一労働同一賃金や時間外労働、勤務間インターバルなどについて意見交換を実施してきました。

このような活動を通じ、化学産業界だけでなく他産業の皆様にとってもより良い社会となるよう、化学総連に集う組合員の目線でこれからも意見してまいりますので、従前に増してのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、多くの新入社員を迎える季節になりました。組合員各位からの温かいコミュニケーションで、一年後には「この会社に就職してよかった」と思ってもらえることを切に祈っております。

化学総連活動報告

・ 地方連絡会議ブロック交流会 ・

日 時		開催場所	出席人数
2016年 11月 24日	北信越ブロック	石川県	20名
2017年 2月 14日	中国ブロック	広島県	12名
2月 20日	東海ブロック	三重県	21名
2月 26日	北関東ブロック	栃木県	40名
3月 10日	京福滋ブロック	滋賀県	30名
3月 10日	南関東ブロック	東京都	45名
3月 26日	阪神岡山ブロック	岡山県	28名
3月 28日	九州ブロック※	熊本県	10名

※化学総連幹事会メンバーとの意見交換



・ 第1回勉強会 ・

日 時：2017年 1月18日(水)
 場 所：化学総連事務所 会議室
 出席人数：15名
 内 容：講演「世界の化学物質管理の現状と今後について」
 講師：経済産業省 製造産業課 何本 仁 様

・ 第2回勉強会 ・

日 時：2017年 2月 2日(木)
 場 所：化学総連事務所 会議室
 出席人数：21名
 内 容：講演 1「働き方改革の重要性について」
 講師：衆議院議員 穴見 陽一 先生
 講演 2「同一労働同一賃金について」
 講師：厚生労働省職業安定局 派遣・有期労働対策部長 鈴木 英二郎 氏



・ 第85回調査担当者会議 ・

日 時：2017年 3月 9日(木)
 場 所：積水化学工業株式会社 大阪本社
 出席人数：18名
 内 容：2016春・秋闘の付帯要求・検討結果について
 2017春・秋闘の付帯要求・検討状況について

・ 第2回書記長・事務局長会議 ・

日 時：2017年 3月31日(金)
 場 所：ツインリーブスホテル出雲
 出席人数：19名
 内 容：分科会「各単組の組織運営課題について」

